記載例

子ども・若者支援の実態把握ヒアリングシート

ヒアリング日　　月　　日（　　）

団体名					
氏名①		氏名②		連絡先	

所属名					
氏名①		氏名②		連絡先	

(1) 相談要旨、子ども・若者の実態など

※相談者が最初に相談した時の主訴を記入する。
※地域で子ども・若者の実態について見聞きした内容について記入する。

(2) 家族構成

※家族全員を記入する。
男□、女○、本人◎で記載。本人と同居している者は実践で囲む。全員の年齢も記入する。

(3) 子ども・若者の状況

※子どもの家庭や学校での生活の様子を記入する。

（不登校・ひきこもり・ニート・非行・発達障害・貧困・虐待・特定妊婦・高校中退等が考えられる。）

(4) 家族・生活状況

※家族は子どもとどのような接し方をし、お互いがどのような関係なのか、相互の関係について記入する。また、親族等の援助があればその内容を記入する。
※就労の有無、常勤・パート、収入、持家・借家、借金の有無、家族の健康状態等の状況を記入する。

(5) 地域社会との関係

※職場や近隣の人達、友人らとの付き合い、子どもの保育所や学校等の関係について記入する。

(6) 所見

※(1)～(5)等をふまえ、支援者がとらえた本人及び家族の中で起こっている問題点について記入する。

(7) 解決に向けての支援内容

※(6)所見をふまえた支援内容や利用している社会資源の状況等を記入する。

(8) 援助をする中での課題

※(1)～(7)をふまえ、解決の見通しや援助課程の中で必要だと感じた施策や支援をする上での行政や地域での仕組み等の課題を記入する。
※(1)～(7)をふまえ、問題や課題が大きくなる前に早期発見・早期支援など予防的支援の視点があれば記入する。